

令和7年9月30日で販売を終了する有償刊行物一覧

資料名	値段	内容	編集・発行
【各種刊行物】			
1 静岡市文化財資料館収蔵品 図録	1,220円	静岡市文化財資料館は「市民文化の向上と文化財保護思想の普及」を目的に静岡浅間神社境内建設されました。本図録は、静岡市文化財資料館の開館25周年記念事業の一環として作成し、平成12年末の時点で文化財資料館に保管されている各種文化財、歴史資料等を収録してあります。Ⅰ 静岡浅間神社所蔵品、Ⅱ 静岡市所蔵品、Ⅲ 静岡市文化財協会所蔵品、Ⅳ 個人所蔵寄託、Ⅴ 史跡賤機山古墳出土品に分けて、カラー写真付でわかりやすく説明されています。中には、徳川家康公が着たと言われている腹巻も載っています。	静岡市教育委員会 2001年
2 静岡市の文化財―天然記念物編―	300円	静岡市にある天然記念物が、国指定・県指定・市指定に分類され、写真とともに解説されています。	静岡市文化財課 2012年
【民俗文化財紹介小冊子 伝統文化ガイドブック】			
3 小河内のヒヨンドリ (静岡市の伝統文化ガイドブックNo.1)	200円	静岡市的小河内では、正月にヒヨンドリと呼ばれる神事を行っています。ヒヨンドリの由来や伝承を物語る文献は今のところ見出されておらず謎に包まれたままであるが、ヒヨンドリは代々伝えられてきた伝説であり、その伝説とは、昔小河内に住み着いたイセソーホーなる人物が、精巧なまげ物作りの技術を教える代わりにヒヨンドリと呼ばれる火伏せの神事の実施を提案し、併せて雨乞いの樹法も伝授した、というものである。 本誌ではヒヨンドリの記録や、その具体的内容、行事の記録等が民族的な意義が小河内というムラと関連付けて書かれています。	静岡市教育委員会 1999年
4 有東木のギリッカケ (静岡市の伝統文化ガイドブックNo.2)	200円	有東木は、安倍川の上流部、標高550メートルほどのところにある高地集落のことであり、ギリッカケとは一連の正月行事の流れに組み込まれた小正月の子供行事のことで、輪切りにして紐でつないだ一対の木片をギリッカケと呼んでいます。本誌では、有東木のイエとムラの正月行事から、ギリッカケの由来と伝承、方法まで詳しく書かれており、有東木のギリッカケ行事の歴史に触れることができます。	静岡市教育委員会 1999年
5 送り神～野田平・足久保～ (静岡市の伝統文化ガイドブックNo.3)	200円	送り神を行っている地域は静岡市の中でもたくさんあり、同じ送り神でも地域ごとに送り方や用いる道具は異なっています。本誌では、そんな送り神を行っている野田平と足久保の祭りの様子について詳しく書かれており、野田平の章には歴史や送り神の由来、それを支えるムラの組織について、足久保の章には戦後途絶えてしまった送り神が復活した流れや、送り神行事には欠かせない神輿と藁人形について知識を深めることができます。	静岡市教育委員会 2000年
6 マメタクと水神祭り～玉川の祇園行事～ (静岡市の伝統文化ガイドブックNo.5)	200円	マメタクという行事名は、よく働くという意味の「まめったい」が由来であり、子供たちが供物の材料を集める訪問儀礼と神送り祭祀が組み合わさったものです。また、マメタクと水神祭りは川への祈りが込められた行事です。本誌では、そんなマメタクと昔から関わりのある静岡市の腰越という地域の歴史や人々の暮らし、マメタクの行事の様子や中心となる子供たちについて民俗学的に記されています。	静岡市教育委員会 2002年
7 安倍奥の神楽～有東木・梅ヶ島新田～ (静岡市の伝統文化ガイドブックNo.6)	200円	神楽とは、神座(かみくら)、神懸(かみがかり)が語源であり、祭りの場に神を招き、舞を奉納することで邪気を祓い、または豊穡を感謝する伝統芸能です。静岡市では、有東木の神楽が民俗文化財の中の無形文化財として指定されています。神楽は、安倍川流域、大井川流域、瀬戸川流域の山間部に伝承されており、本書では安倍奥・有東木・梅ヶ島新田の神楽について説明されており、同じ神楽でも地域によって舞などが異なっていることがわかります。	静岡市教育委員会 2004年

8	静岡浅間神社の節分行事(静岡市の伝統文化ガイドブックNo.7)	200円	江戸時代、府中の節分行事は「静岡浅間神社の節分行事」を中心として、盛んに行なわれてきました。静岡浅間神社の節分行事は、特殊神事「節分祭」として、毎年2月3日に行われています。浅間神社の節分行事を特色付けているのは、梅と柳の若い枝を、麻緒で結わえて作った「鬼やら棒」です。他にも、静岡市域における節分行事の諸相として、豆まきや豆占、節分の古風な習俗として注目されているヤイガカシと呼ばれる徐魔の風習、オニオドシと呼ばれる節分の目籠立てについても書かれており、静岡市の節分について学ぶことができます。	静岡市文化財課 2008年
【民俗文化財紹介小冊子 民俗芸能ビデオガイド】				
9	No.8 藁科川流域の民俗行事	200円	本書は、平成18年度、19年度の2か年をかけ、夏の民俗行事を中心に記録したもので、羽鳥のオカンジャケ、久能尾のナガンダイ、小島のタイナガシ、富厚里のアゲドロー、坂ノ上のタイマツが収録されています。そこから、地域の人々が一体となって、行事を盛り上げている様子が映し出され、民俗行事の伝承が、地域の暮らしに活力を与えていることがわかります。藁科川流域にはどんな地域があるのか知ることができると共に、それぞれの民族文化について知識を深めることができます。	静岡市文化財課 2009年
【旧清水市刊行物】				
10	文学に描かれた清水	500円	古来清水地域を描いた文学作品は数多く、地域そのものを描いた作品や、地域の点描、清水を舞台にして物語が展開するものなどがあります。本書では、それらの中から、特に関係の深い有名作家の作品に絞って、古代・中世で7編、近世10編、近現代で13編を選んで文学に描かれた作品や登場する郷土等について記述されています。	清水市教育委員会 2000年
【旧蒲原町刊行物】				
11	蒲原古代塗	3,050円	蒲原古代塗が誕生したのは、今から約150年前の事で、幕末、大正、昭和初期まで地場産業として宿場町蒲原の活性化に貢献したという歴史的事実が残っています。古代塗は、静岡県蒲原町(現静岡市清水区)と高知県高知市のふたつの産地で作られた同じ名称を持つ珍しい漆器です。また、蒲原の古代塗の記録は少なく、創始にかかる伝承もわずかに残されているのみである中、本誌には蒲原古代塗の様々な作品の写真と寸法が詳しく掲載されており、大変貴重な一冊とも言えます。	蒲原町(教育委員会) 1999年
12	旧五十嵐邸物語	500円	旧五十嵐歯科医院とは、五十嵐準氏が大正3年(1914)に蒲原に建てた医院併用住宅のことで、平成17年度に国の登録有形文化財に登録されました。なぜ旧五十嵐歯科医院は洋風のデザインになっているのかなど旧五十嵐歯科医院の建築物の特徴や、建てられた当時の様子から修復作業の様子まで様々な情報が書かれています。	静岡市教育委員会 2001年
13	清水の文化財	1,220円	旧清水市にある文化財が、有形文化財や民俗文化財、記念物についての写真と説明によって紹介されています。この一冊を読むだけで清水市にはさまざまな種類の文化財があることがわかるため、それらから旧清水市の歴史を読み取ることができます。	清水市教育委員会 1994年